

搜狐新聞

広東初の MERS 患者容体悪化 濃厚接触者 13 名消息不明

搜狐新聞 news.sohu.com 2015-06-01 02:59 来源: 新文化報

広東省衛生計生委は 5 月 31 日、5 月 29 日に発表した韓国人 MERS 患者(金*)の容体が悪化したと発表。その濃厚接触者は 64 人まで追跡したものの 13 人の消息が途絶えたとしている。

5 月 29 日、我が国初の輸入性 MERS 確診患者。情報によれば、韓国の金*は 5 月 26 日に広東省惠州市に進入したが、中国に入る前に既に発熱症状があり、現在、既に隔離治療されている。惠州市は韓国人患者を受け入れて以後、直ちに予防管理グレードを引き上げている。未婚の医療スタッフを第一陣に、くじ引きで ICU に入りこの患者の世話をしている。

濃厚接触者 64 人まで追跡済み

広東省衛生計生委は 5 月 31 日、5 月 29 日発表した韓国人患者の容体が悪化し、高熱と胸部 X 線検査で以前より毛細血管性出血が悪化の傾向が見られ、酸素供給が低下、中度の急性呼吸促迫症候群 (ARDS) に符合すると診断しており、濃厚接触者 64 名までは追跡できたが、13 人の所在がつかめていない。

5 月 31 日午前、広東省衛生計生委は、第三陣の臨床専門家グループを惠州市中心人民醫院(病院名が判明)に派遣し、治療の指導に当たらせており、同時に 6 月 1 日からは、省臨床専門家が二人一組で同病院に駐在して治療指導に当てることを決定した。

発表では、広東省は、濃厚接触者の搜索と隔離観察の強化を継続しており、衛生計生委と公安等の部門との共同調査を通じ、同省での濃厚接触者 77 人を確認したが、これまでに全省で追跡できたのは 64 名で、彼らには集中隔離観察をとっているが、異常は見られていない。まだ連絡が取れていない 13 人は、永安東バスの乗客 11 人(乗客名簿の記録が存在しない)、香港から同省に進入した可能性のある同じフライトの乗客 2 名(公安の長沙情報を通じて連絡)だ。

この他、同フライトで患者と座席が近かった 2 名は、「入院隔離」を拒んでいたが、5 月 30 日午後、香港衛生防護センターが韓国駐港領事館代表や入境処の警官たちの協力のもと、銅鑼灣(コーズウェイベイ)のエリザベス・ハウスにいた両名を突き止め、リゾート地まで移送、2 週間の強制隔離を実施した。

惠州の医療スタッフはくじ引きで ICU に

5 月 30 日午前、新浪微博のネットユーザー@乳腺科呂鵬威は、一組の医療スタッフが ICU に入る姿とショートメッセージを内容とする写真をアップした。

それによれば、ショートメッセージの内容は『未婚の医療スタッフを第一陣として抽選の上戦場に投入する、既婚の医療スタッフは第二陣とする』というもので、『さよなら』といった私の友達や親友もいる、とあった(それくらいの悲壮感が感じられる表現です)。

その後、この微博がネットユーザーの間で転送され出し、惠州の医療スタッフに『彼らこそ真の英雄だ』という尊敬の念が込められた。

WHO : MERS は簡単にはヒトヒト感染しない

WHO は、5 月 29 日、現在韓国で見つかった患者は、全員が中東地区を訪れていた同一患者に関連があるが、社区(コミュニティ)内でのヒトヒト感染は見つかっていないと発表。

WHO のスポークスマン、クリスチャン・リンドマイヤーは言う:『MERS ウィルスには異常はなく、依然として直接伝播するものであり、ヒトヒト感染の持続性はない。すべての患者は中東に行った患者と結び付けられる』と。

リンドマイヤーは、韓国国内では持続的なヒトヒト感染は社会内で発生しておらず、WHO は旅客のスクリーニングや入出国規制などの対応措置を採る必要はないとしていると語った。

彼女の説では、『本日収集したエビデンスからも、MERS ウィルスは、濃厚接触をしない限り容易にはヒトヒト感染しないことが証明されている』とのことだ。

韓国の患者第一号、つまり『初発症例』患者は、68 歳男性で、4 月中旬にバーレーン、サウジアラビア、UAE 等の中東国家に行き、5 月 4 日に仁川空港から韓国に戻った後に呼吸器疾患が出現、20 日に MERS 患者と確診された。彼の妻は、韓国第 2 例の MERS 患者として確診され、もう一名の初発症例と同一病棟に入院していた 76 歳男性がその後感染しているが、その他の患者には、患者の治療と確定診断をした医師と

患者の子女などが含まれる。

如何に予防するか？ 手洗いの励行がキー

広東省疾病予防管理センター伝染病予防管理所署長で、伝染病疫学専門領域主席専門家である、何劍峰は、細菌中東を旅行した人たちは、手洗いの励行がキーとなる。なぜならば、人の手は知らず知らずのうちに頭等に触れているからだ；もし、中東から喜古向後に発熱や身体不調等の症状が出た場合には、速やかに病院に行き、中東を訪れていたことをはっきりと医師に告げる必要がある、と語る。

何劍峰医師は「**MERS** ウィルスは早期発見することは難しく、典型的な特徴はなく、風邪による発熱症状だけしかないので、普通の風邪との区別を早期段階ですることは極めて難しい」、疫学史と渡航歴を結合しないと判断が大変難しくなるとしている。

入国した韓国人患者は父親を見舞った際に感染

中国国家衛生計生委は **5月29日**、中国に入国した韓国人患者は **1971** 年生まれ、韓国 **MERS** 患者の濃厚接触者で、**5月21日** 韓国にいる際に体調不良が現れており、**5月26日** に **OZ723** 便で香港に到着し、深圳沙頭角から入国、惠州に至ったと発表。

韓国聯合社の表現を借りると、この男は韓国第 **3** の患者の息子で、患者④の弟。**5月16日** に病院に父親を見舞っており、父親と初発症例と同一病棟で **4** 時間近く過ごしていた。体調不良が現れた後、医療スタッフが彼に中国出張計画を取り消すように忠告したが、この男は医師の忠告を聞かなかったという。

韓国初発症例は『スーパー・スプレッダーか』？

韓国衛生部は、**5月30日**、隔離観察中の男性 **1** 名が **MERS** 感染者と確診されたと発表。この患者は、患者 **12** 号の夫で、**5月15日～17日** にかけて、初発患者のいる病院に妻を見舞いに出かけており、**5月21日** に発熱などの症状が現れて隔離観察されていた。

韓国衛生部は、「**13** 名の確診患者中、相次ぎ増加する患者は皆、初発症例 **A** を通じ感染している。**A** は、**5月、11日** に症状が出現し、**5月20日** に確診されたが、その間肺炎などの呼吸器疾患症状が重く、且つ、同期間がウィルス伝播力の最も強力な時期だった。分析データからみると、二次感染した患者は全て、**5月15～17日** までの間に **A** と **1～4** 時間の接触があった。現在、大量の医療スタッフが隔離観察を受けており、**A** を収容した病院はしばらく閉鎖されている。中国に入国した韓国人患者の行動は以下の通り。

5月16日 父親を見舞い感染

初期疫学調査において、この男は **5月16日** に患者と確診された父親を見舞っていたことを伏せていた。

5月19日と22日 受診時に病状を欺瞞

この男は、発熱症状が現れた後 **5月19日** と **22日** に某病院救急外来で治療を受けた際も、医師に対して確診患者と濃厚接触があったことも確診患者の家族であることも隠ぺいしていた。事実上、父親は **20日** に患者③として確診されていた。

同時に、この医師は **25日** にこの男が **MERS** の濃厚接触歴があることを知ってから、すぐには関連部門に報告を上げず、この男が出国した後 **27日** になって漸く所在地の保険部門に報告を上げていた。このような消極的対応方法が、この男を韓国の医療防疫部門の管理監督下から抜け出させてしまった。

5月26日 香港便に搭乗

この男は、アジアナ航空 **OZ723** 便に搭乗（機内には **158** 名の乗客がいたが、**80** 人がこの男と同一区画におり、**29** 人がその左右のシートに座っていた）し、香港に入国した。

5月26日15時 空港バスに搭乗、7人乗りの車

香港ナンバー **PJ2595** 便のエアポートバスに乗り、香港国際空港から沙頭角へ、車には **21** 名の乗客と運転手 **1** 名が同乗していた。その後、香港沙頭角から淡水に至る香港ナンバー **NF4501** 人の **7** 人乗りバスに乗車したが、車には **3** 名の乗客と運転手 **1** 名が乗っていた。

5月26日16時50分 バスで惠州へ

広東省の車両ナンバー **粵 ZCH70** の乗客 **13** 人と運転手 **1** 名が乗ったバスで沙頭角から惠州に。

広東省衛生計生委は、**5月26日** に同じフライトと上述 **3** 台の車に同乗した人々に対し、広東省疾病管理センター或は系趣旨疾病管理センターに連絡をするよう呼びかけている（広州 **020-8445-1025, 189-2882-4836**；惠州：**0752-287-3011, 134-3344-9127** 丘医師）。

韓国軍兵舎の30名が隔離措置に

韓国保健福祉部は **5月31日**、確診患者 **2** 名が増えたと発表。これにより、韓国の **MERS** 患者は、**15** 名と

なった。

同国保健福祉部は、新たに増えた **N** と **O** の両名は初発症例の **A** から感染したと発表。うち、**N** と **A** は同じ病室に入院しており、**O** は **A** と同じ病棟に住む母親を頻りに訪れていた。

この二人は、隔離観察対象から外されていたが、後に、病棟に入院していた家族や医療スタッフに対する再調査の中で確診された。国防部当局者は、「この兵士は、今月初めに休暇の際に母親と過ごしていたが、彼には症状が出ておらず感染の可能性は比較的小さいとはいえ、我々は彼の血液検査をしている」と語る。

韓国 **MERS** 患者がこの両日加速度的に増えている。5月29日だけでも5名の患者が増えており、その中には中国で確診された韓国人も含まれている。

AFP は、これまでに129人が隔離観察されているが、確診患者人数が増えるに伴いさらに多くの人が隔離される可能性があると報道している。

確診患者が増加し続けている状況で、韓国保健福祉部の文亨杓長官は、5月31日、**MERS** 患者が拡散してしまったことについて、謝罪し、判断ミスがあったことを認めた。

韓国聯合通信社は、これまでに韓国での3次感染は出ておらず、全ての患者が初発症例からの感染であると報じており、「初発症例が20日に隔離されていることと**MERS** の最長潜伏期が2週間であることから理論上は6月3日の後には二次感染患者は出ないことになる。また、一週間後に感染者数増加の趨勢が大きく弱まる」としている。

文亨杓長官は、翌週一週間は**MERS** 予防管理の『最重要時期』となると強調した。

韓国ネットユーザーは、金某の強硬出国は韓国の恥だと批判

26日に広東省恵州市に進入した韓国人金某は既に中国発の**MERS** 患者と確診されている。この男は、韓国で**MERS** 患者と接触しており既に発熱症状が現れていたが、どのようにして韓国の監視を擦り抜けて中国に入ることができたのか？ この疑問が韓国社会で大きな注目を浴びている。

なぜ出国できたのか？ 感染した父親を見舞ったことを隠ぺいし、医師の忠告を無視

この男は、広東省恵州で隔離治療の後、韓国メディアがこの男を強硬出国させて中国に拡散した責任を指弾した。この男の妻はメディアインタビューの際、仕事が大変多忙で、無理をしてでも出張しなけりなかつたと言っている。

韓国保健福祉部のスポークスマンは、5月28日、初期段階における疫学調査で、この男を確診患者の濃厚接触者として組み入れて隔離観察を行っていなかったことを発表の中で認めた。但し、同時に、この男が意識的に『濃厚接触』の経過を隔したことが事態拡大を招いたとも認識しているとしている。

韓国社会の見方は？

政府側は管理の漏れを認め、ネットユーザーは『恥』という。

韓国保健福祉部のスポークスマンは、韓国初の**MERS** 症例であり、多くの困難があったと発表した。同部門はその防疫システムに漏れがあったことを認め責任は全て防疫当局にあると認めている。

流行があつという間に広がったことから、韓国政府の応急対応措置能力について韓国社会から指弾されることになった。

韓国『中央日報』の評論では、この中国に行った男が**MERS** 患者と確診された父親を病院に見舞っていたのに隔離対象とはされず、報告義務のあった医療スタッフも速やかに報告を怠っていたといった管理上の「抜け」が感染の拡散を許してしまった。韓国のネットユーザーは、この韓国の男が忠告を顧みずに強硬出国して中国に入ってしまったことは韓国の恥だとしている。

ミニデータ MERS 致命率は37%

MERS は、一種の新型コロナウイルス (**MERS-CoV**) が引き起こすウィルス性の気道疾病で、このウィルスは2012年にサウジアラビアで発見された。コロナウィルスは人類や動物に発症を引き起こすウィルスで、普通の風邪から**SARS** 等人類に多くの疾病を発症させている。

ロイター通信は、**MERS** が2012年にサウジアラビアで最初の患者が出て以降、1,135人が確診されており、少なくとも427人が死亡、その致命率は約37%に上るという**WHO** のスポークスマン、リンドマイヤーの話を報じている。

..... 以下は中国語原文

广东首例 MERS 患者病情加重 13 名密切接触者失联

搜狐新闻 news.sohu.com 2015-06-01 02:59 来源：新文化报

广东省卫生计生委 5 月 31 日通报，5 月 29 日发布的中东呼吸综合征确诊病例、韩国人金某目前病情加重。其密切接触者已追踪至 64 人，但仍有 13 人“失联”。

5 月 29 日，我国出现首例输入性中东呼吸综合征（MERS）确诊病例。据了解，韩国男子金某于 5 月 26 日进入广东省惠州市，来华前已出现发烧症状，目前，已经被隔离治疗。

惠州市收治韩国病患以来，惠州市立即提高防控等级。未婚医护人员作为第一梯队抽签进入 ICU 照顾该名病患。

密切接触者已追踪至 64 人

广东省卫生计生委 5 月 31 日通报，5 月 29 日发布的确诊病例目前病情加重，间中有高热，胸片示渗出灶较前增多，氧合变差，符合中度急性呼吸窘迫综合征（ARDS）诊断，其密切接触者已追踪至 64 人，但仍有 13 人“失联”。

5 月 31 日上午，广东省卫生计生委派出第三批临床专家组到惠州市中心人民医院指导医疗救治，并决定从 6 月 1 日起，安排省临床专家每批两人在惠州市中心人民医院驻点协助指导治疗患者。

通报称，广东将继续加强密切接触者的搜寻和隔离观察，通过卫生计生和公安等部门核查，确认该省应追踪的密切接触者共 77 人，截至目前，全省已追踪 64 人，全部采取集中方式隔离观察，暂无人出现不适。尚未取得联系的 13 人，其中乘坐永安东巴士乘客 11 人（没有乘客信息登记记录），香港通报可能进入该省的同航班乘客 2 人（通过公安核查信息正在联系）。

另外，有两名女子在航机上座位靠近患者，且曾一度拒入隔离营。5 月 30 日下午，香港卫生防护中心在韩国驻港领事馆代表、入境处及警方协助下，在铜锣湾伊利莎伯大厦寻获这两名韩国女子，并把两人送往度假村，进行为期两周的强制性隔离。

惠州医护人员抽签进 ICU

5 月 30 日早上，新浪微博网友@乳腺科吕鹏威发布一组医护人员进入 ICU 和短信截图为内容的图片。

据图片显示，短信内容为“未婚的医护人员作为第一梯队参与抽签先上战场，已婚的医护人员作为第二梯队。”还有人在朋友圈和亲友道别。

随后该条微博被网友纷纷转发，并向惠州的医护人员致敬，称“他们是真正的英雄。”

世卫组织：MERS 不易人传人

世界卫生组织 5 月 29 日表示，目前韩国发现的病例均与同一名前往中东地区的病患相关，尚没有出现持续性社区内人际传播。

世卫组织发言人克里斯蒂安·林德梅尔说：“（中东呼吸综合征）病毒没有异常表现，依旧是直接传播，并没有持续的人际间传播。所有病例均与前往中东的同一患者病例相关。”

林德梅尔说，鉴于韩国境内并没有中东呼吸综合征的持续性社区内人际传播，世界卫生组织还不推荐展开旅客筛查和出行限制方面的应对措施。

按他说法，“今天收集到的证明再次显示，（中东呼吸综合征）病毒似乎并不容易人传人，除非这些人有过密切接触。”

韩国首发病例、即“指示病例”患者是一名 68 岁男子，4 月中旬去过巴林、沙特和阿联酋等中东国家，5 月 4 日经仁川机场抵达韩国后出现呼吸病症状，20 日被确诊为中东呼吸综合征患者。他的妻子被确诊为韩国第二例中东呼吸综合征病例，另一名与首位患者同一病房的 76 岁男子随后感染该病，其余患者包括治疗确诊患者的医生和探视患者的子女。

如何预防？勤洗手很关键

广东省疾病预防控制中心传染病预防控制所所长、传染病流行病学专业领域首席专家何剑峰建议最近到中东旅行公众，勤洗手很关键，因为人的手会不自觉接触头部；如果从中东回来出现发烧、不适等症状，要及时到医院就医，并且要明确告诉医生去过中东。

“MERS 病毒早期发现有困难，没有典型特征，就是感冒发烧，早期难跟普通感冒区别。”何剑峰说，没有流行病学史与旅游史结合，很难作出判断。

入境韩病患 看望父亲时被传染

中国国家卫生和计划生育委员会 5 月 29 日通报说，入境的韩国病患生于 1971 年，系韩国中东呼吸综合征病例的密

切接触者。他5月21日在韩国境内出现不适，5月26日乘坐OZ723航班抵达香港，经深圳沙头角口岸入境抵达惠州。

按韩联社说法，该男子系韩国第三例中东呼吸综合征病患的儿子、第四例患者的弟弟。他5月16日前往医院探望父亲，在父亲和韩国首名病患病房逗留近4小时。出现不适后，医护人员曾建议他取消前往中国出差的计划，但他没有听从医生建议。

韩首例患者系“超级传播者”？

韩国卫生部5月30日说，一名接受隔离观察的男子被确诊患上中东呼吸综合征。这名患者是第十二名确诊患者的丈夫，5月15日至17日前往首例确诊患者所在的医院探望妻子，5月21日出现发烧等症状后接受隔离观察。韩国卫生部说，在13名确诊病例中，陆续新增的患者似乎均通过首例确诊患者A某感染。A某5月11日出现症状，5月20日被确诊，其间肺炎等呼吸道症状严重，而这一时间段正是病毒传播力最强的时期。从分析资料来看，被二次传染的患者都在5月15日至17日与A某有过1至4个小时的接触。目前，由于大量医务人员正接受隔离观察，收治A某的医院已经暂时关闭。入境韩病例活动轨迹

5月16日 看望父亲被感染

在初期流行病学调查中，这名男子并未说明其在5月16日探望后来被证实患有中东呼吸综合征的父亲。

5月19日、22日 就诊时隐瞒病情

他在5月19日开始发烧后和22日在某医院急诊室接受治疗时，并未向医生说明自己曾密切接触过确诊患者，并且是确诊患者的家属。事实上，其父亲在20日就已被确诊为韩国第三例中东呼吸综合征患者。

5月25日 否认其父为确诊患者

这名男子第二次接受治疗时仍然否认其父亲为确诊患者，而且也未听从医生劝其取消出差计划的建议。

与此同时，当事医生25日了解到该男子有中东呼吸综合征密切接触史后也未立即向有关部门报告，一直拖延到该男子出国后的27日才向其所在地区保健部门报告。这些消极应对的做法，使得这名男患者摆脱了韩国医疗和防疫部门的监管。

5月26日 乘航班抵达香港

该男子乘坐韩亚航空OZ723航班（当时机上共有158名乘客，80人与其同一机舱，29人坐于其邻近两排的座位）入境中国香港。

当日15时 乘坐机场巴士、七人车

乘坐香港车牌为PJ2595的机场巴士，经由香港国际机场至沙头角，车上共有21名乘客、1名司机。随后乘坐香港沙头角至淡水、香港牌照为NF4501的七人车，当时车上共有3名乘客、1名司机。

当日16时50分 乘巴士抵达惠州

乘粤ZCH70巴士从沙头角至惠州，共有13名乘客、1名司机。

广东省卫计委呼吁，5月26日搭乘相同航班及上述三辆车的人士，请主动与广东省疾控中心或惠州市疾控中心联系（广州020-84451025、18928824836；惠州：0752-2873011，134 33449127 丘医生）。

韩军营中招30名士兵被隔离

韩国保健福祉部5月31日通报两例新增中东呼吸综合征（MERS）确诊病例。至此，韩国中东呼吸综合征患者增至15人。

韩国保健福祉部说，两名新增患者N某和O某均通过首例确诊病例A某感染。其中，N某与A某同住一栋住院楼，O某则常来探望与A某同住一栋住院楼的母亲。

两人一开始被排除在隔离观察对象之外，后在针对住院楼患者家属、医务人员的新一轮流行病学调查中被确诊。目前，O某的母亲已被要求在家中接受隔离观察。

此外，韩国国防部5月31日说，韩国中西部忠清南道鸡龙市一名士兵因近日与其确诊感染中东呼吸综合征的母亲有过接触，导致同一营房大约30名士兵被隔离观察。国防部官员说：“这名士兵报告称本月初在休假时与母亲共处，虽然他没有出现任何症状、感染可能性较小，但我们还是为他做了血液检测。”

韩国中东呼吸综合征患者人数近两天呈现快速增长态势，仅5月29日一天就确诊5例新增病例，包括在中国被确诊的一名韩国患者。

法新社报道，迄今已有129人被隔离观察，随着确诊患者人数增多，更多的人可能被隔离。

面对确诊患者不断增加的情况，韩国保健福祉部长官文亨杓5月31日就未能阻止中东呼吸综合征的扩散作出道歉，承认在判断上有失误。

按照韩联社的说法，迄今韩国还没有发生三次感染的情况，所有患者均通过首例确诊患者感染。由于首例患者20日被隔离，而中东呼吸综合征的最长潜伏期为两周，因此从理论上说6月3日之后不会再有二次感染病例。也就是说一个星期后，感染者人数增加的势头会大大减弱。

文亨杓强调，接下来的一周是中东呼吸综合征防控的“最关键时期”。

韩网民批金某强行出境令韩蒙羞

26日进入广东省惠州市的韩国人金某已被确诊为中国首例 MERS 病例。这位曾在韩国密切接触 MERS 患者并已出现发烧症状者，是怎样脱离韩方监控来华的呢？这一疑问在韩国社会引发强烈关注。

为何能出境？ 瞒曾探视患病父亲，未听医生劝告

当这名患者在广东惠州被隔离治疗后，便有韩国媒体指责这一男子强行出国将病情扩散到中国极不负责任。这名患者的妻子在接受媒体采访时解释说，她丈夫的工作十分繁忙，是在迫不得已的情况下才出差。

韩国保健福祉部发言人在 5 月 28 日的通报中承认，在初期流行病学调查中并未将该男子列入确诊患者的“密切接触者”并进行隔离观察。但韩方同时认为，该男子刻意隐瞒“密切接触”经过，导致事态扩大。

韩国社会怎么看？

官方承认管理漏洞，网友称“蒙羞”

韩国保健福祉部发言人表示，这是韩国首次发现输入性中东呼吸综合征病例，因此遇到了许多困难。该部门承认其防疫系统出现漏洞，责任全在防疫当局。

疫情迅速蔓延使韩国政府的疫情应急处置能力备受韩国社会指责。

韩国《中央日报》评论说，这名赴华韩国男子曾去医院探望了身为确诊患者的父亲，却未被列入隔离对象，负有报告义务的医疗人员也没有及时报告疫情，这些管理上的漏洞导致疫情不断扩散。还有韩国网友称，这名韩国男子不顾劝告，强行出国还将疾病传染到中国，令韩国人蒙羞。

小资料

中东呼吸综合征病死率为 37%

中东呼吸综合征是由一种新型冠状病毒（MERS-CoV）引起的病毒性呼吸道疾病，该病毒于 2012 年在沙特阿拉伯首次被发现。冠状病毒是一组能够导致人类和动物发病的病毒，常能够引起人类发生从普通感冒到严重急性呼吸综合征（SARS）的多种疾病。

路透社援引世卫组织发言人林德梅尔的话报道，中东呼吸综合征 2012 年在沙特出现首例病例以来，已有 1135 例确诊病例，其中死亡病例至少 427 例，病死率约为 37%。

本组稿件 据新华社、《广州日报》